

正覚寺だより

スジャータ

46

平成22年(2010)

元旦発行

〔スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である〕

法然共住

平成23年は法然上人の800年大遠忌です

新春を迎えて

「永代供養合同墓」完成



正覚寺境内のお地藏さま

〔住職のつぶやき〕

ハーブと水鳥

～かくれた根があって花が咲く～



[住職のつづやき]

ハープと水鳥

～かくれた根があって
花が咲く～

住職／山縣 正紀



(1)

ハープとフルートの生演奏を聴く機会に恵まれた。童謡やスタンダードな親しみのある曲ばかり。小さな会場にお客さんは30人ぐらい、途中で暖かいスープがもてなされるとい、とてもアットホームなコンサートだった。

正覚寺のごく近所で催されたこの企画に、寺の駐車場を提供したことで招待して下さった。法務と重なり時間に少々遅れ会場に入ったところ、すでに演奏中で最前列にしか空席がなく、ハープの真ん前に陣取ることになった。

見渡すと会場内は女性ばかり、本来は家内が来るべきだったと悟った。考えてみれば平日の昼間、女性向けの企画であることは明白で、のこのこ出かけた私が迂闊うかつだった。

(2)

しかし、お陰で生演奏をたっぷり楽しませて頂いた。フルートは比較的馴染みのある楽器だが、ハープを間近で見る機会は少ない。ロングドレスを着た女性が細い腕しなを撓らせて、優雅にそして波打つよう

に奏でる。そんなイメージそのままの演奏風景であった。

だがハープには7本ものペダルがあり、それを操作して半音を出している、と曲の合間に説明があった。ロングドレスに隠された足元はかなり忙しく、それも相当力強く使われている事に気づいた。

優雅に軽やかに見えて遠くからだと気づかないが、実は両手両足つまり全身を駆使して演奏されていたのだった。

(3)

その姿を見ていて思い出した句がある。

「ただ見れば なんの苦もなき水鳥の
足にヒマなき 我が思いかな」

美しい景色の中で何の苦勞もなく水面みなもをスイスイ渡っているように見える水鳥も、見えにくい水面下では一生懸命忙しく水掻きを動かしている。そんな情景を、テレビでお馴染みの水戸黄門さんが詠んだものだ。

ハープを一心に演奏している女性の姿と重なった。

(4)

優雅に気楽に見えても、誰もが人知れず苦
 勞し、努力もしている。

「美しい花が咲いた。かくれた根のおかげで」
 根があってこそその花。下積みの汗や涙があっ
 てこそその私たち。だから、

「花の咲かない冬ならば 下へ下へと根を伸
 ばせ」

人生にはこんな時期もあるだろ。

「幸せの準備運動」

と受け止めて、地道な努力や精進を大切に忘
 れないでここう。

総本山知恩院

高齢者招待祝賀会

今年 80 歳を迎える方々、
 どうぞご参加ください。

- ◆日時 平成22年4月18日(日)
- ◆場所 総本山知恩院
- ◆招待者 昭和5年生まれの方と
 同伴者1名
- ◆申し込み 2月末日までに正覚寺へ
 ご出席の方には詳しい案内状をお
 送りします。尚、当日出席出来なくて
 も、申し込みの方には記念品をお届
 けします。
- ◆その他 交通費は各自でご負担下さい。

賀 正

さわやかな新春をお迎えるのこととお喜び申し上げます。

平和で毎日が明るく
 天候も穏やかで
 災害や病気の流布もなく
 国が栄え国民が安心して暮らし
 争いもなく徳を尊び
 人を思いやり礼儀正しい
 そんな世の中になって欲しいと
 毎朝
 本堂で祈念しております

今年も、よろしく願い申し上げます

正覚寺だより「スジャータ」を今年から元旦に発行
 し、年頭の賀状も兼ねさせて頂くことにしました。
 全檀信徒にお送りしますので、昨年ご不幸があった
 ご家庭にも年賀として届く失礼をお許し下さい。



永代供養合同墓

昨年しんねんの秋に完成

家族形態の多様化から、今までの「家」としての墓を維持出来ないケースも生じ、最近では合同墓が求められるようになりました。

そんな状況から正覚寺では、屋内墓所げんじょうでん「還浄殿」の4階に永代供養を伴った納骨堂形式の合同墓を新設致しました。



- 本尊阿弥陀仏の前の赤い過去帳に記載します。
 - 年に一度、十夜法要の時、本堂でご回向します。
 - 預かった遺骨は阿弥陀仏の後ろに個々に納骨し、一定期間経過すると阿弥陀仏の下に合祀します。
 - 自分の代で跡取りの無くなるご家庭の場合、従来の墓からご先祖の遺骨をすべて移すことも出来ます。
 - 未婚の方、子供さんの無い方など、お元気な時の申し込みも受け付けます。
- 概ね以上のような合同墓ですが、詳しくはお問い合わせ下さい。



○ご本尊 阿弥陀仏

永代供養合同墓のご本尊は、この度、海田町の熊谷家よりお迎えしました。ご先祖が代々拜んで来られた端正な木彫の阿弥陀さまです。

残念ながら熊谷家を継ぐ方がなく、先祖代々の墓とこの阿弥陀さまのことをとても心配されておりました。住職がそれを聞いたことが縁となって、この度、合同墓を新設することになりました。

ご本尊に迎えたことは現当主はむろん、熊谷家のご先祖もきっとご安心の上、喜んで下さっている事と思います。

○屋内墓所げんじょうでん「還浄殿」あらたに42基の増設

屋内納骨堂形式のお墓です。この度最終の42基を増設しました。間口40センチ、高さ185センチ、上半分に過去帳を祀り下半分に納骨します。

今の墓が遠い、急傾斜地で参りにくい。また維持管理が出来にくい。などの理由から「還浄殿」へ移される場合も増えてきました。

詳しくは、現況を見て頂くのが分かりやすいと思いますので、いつでもお問い合わせ下さい。





○ 春の行事がご協力下さい。

○ 桜水園の行事は、お申し込み下さい。

春のお彼岸

3月21日(日) ■ 朝10時より



十輪寺

法然上人二十五霊場と高野山参拝

4月26日(月)から2泊3日

〈訪問先〉二十五霊場の一つである 高砂市 十輪寺
 ラストサムライの撮影地 姫路市 書写山円教寺
 他宗派ではありますが 高野山 金剛峯寺
 爆笑漫才と吉本新喜劇の なんばグランド花月

〈宿泊先〉神戸・大阪

今春は呉発着、往復バスの旅を企画しました。二日間ゆっくりお参りし、最終日にはお笑いも楽しみましょう。詳しい案内状を同封していますので、どうぞご参加ください。

今年の行事予定

写経の会	毎月1日	13:30より
念仏の会	毎月14日	13:30より
春彼岸会	3月21日(日)	10:00より
十輪寺参拝	4月26日(月)から2泊3日	

大掃除	6月1日(火)	9:00より
棚経法要	7月18日(日)	9:00より
盆施餓鬼会	8月15日(日)	9:00より
秋彼岸会	9月23日(祝)	10:00より
十夜法要	11月14日(日)	10:00より

五十回忌	三十七回忌	三十三回忌	二十七回忌	(二十五回忌)	二十三回忌	十七回忌	十三回忌	七回忌	三回忌	一周忌
昭和三十六年亡	昭和四十九年亡	昭和五十三年亡	昭和五十九年亡	昭和六十一年亡	昭和六十三年亡	平成六年亡	平成十年亡	平成十六年亡	平成二十年亡	平成二十一年亡

平成二十二年の法事は左記の表の様になります。参考にして各家の位碑などを調べてください。

平成二十二年 年回表

あとがき

- 昨年11月8日(金)浄土宗と中国新聞の主催で「法然共生フォーラム in 広島」を広島市青少年センターで開催し、雅楽師の東儀秀樹氏やフォーク歌手高石ともや氏の講演や演奏がありました。
- 法然上人800年大遠忌の記念事業の一つとして行われたことです。これからも色々な企画がありますので、どうぞご参加ください。
- 一つでも明るいニュースの多い年になって欲しいものです。



写真：中国新聞より(09.11.22)



発行所／〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺

でんわ／0823-21-6086 Eメール／shoukaku@orange.ocn.ne.jp

FAX／0823-22-9922 郵便振替／01300-5-13754 口座名／浄土宗正覚寺